

神戸市感染症発生動向調査週報 …第43週 （令和8年10月19日～令和8年10月25日）

2026/10/28作成 神戸市感染症情報センター

急性呼吸器感染症(ARI)（報告定点数: 35 /設置定点数: 35 …東灘区: 5 灘区: 3 中央区: 4 兵庫区: 2 北区: 5 長田区: 2 須磨区: 4 垂水区: 5 西区: 5 ）

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	0歳	～4歳	～9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳以上	※ 咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上の症状を呈し、発症から10日以内の急性的な症状であり、かつ医師が感染症を疑う外来症例。 ※ 以下の疾患と診断された患者や同一週内で複数回受診の患者も、重複して計上しています。
急性呼吸器感染症	↑	421	218	150	59	388	118	123	345	383	2205	149	817	529	262	105	58	93	57	69	35	14	17	

インフルエンザ・新型コロナウイルス（報告定点数: 35 /設置定点数: 35 …東灘区: 5 灘区: 3 中央区: 4 兵庫区: 2 北区: 5 長田区: 2 須磨区: 4 垂水区: 5 西区: 5 ）

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	～79歳	80歳以上
インフルエンザ	↑	54	32	23	8	79	21	21	46	70	354	2	4	15	14	25	24	29	28	13	21	9	64	20	17	16	15	25	7	3	3
新型コロナウイルス(COVID-19)	↓	3	1	0	0	1	0	3	1	0	9	2	0	0	0	0	0	0	0	0	1	1	1	0	1	0	0	0	2	0	1

小児科（報告定点数: 20 /設置定点数: 20 …東灘区: 3 灘区: 2 中央区: 2 兵庫区: 1 北区: 3 長田区: 1 須磨区: 2 垂水区: 3 西区: 3 ）

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	20歳以上
R Sウイルス感染症	↑	12	0	3	2	8	0	1	11	8	45	1	7	12	17	8	0	0	0	0	0	0	0	0	0
咽頭結膜熱	↓	5	0	0	0	0	0	1	0	0	6	0	0	1	0	0	2	2	1	0	0	0	0	0	0
A 群溶血性レンサ球菌咽頭炎	↓	4	0	4	0	3	0	2	4	2	19	0	0	0	1	1	2	2	4	0	2	3	4	0	0
感染性胃腸炎	→	9	1	3	2	42	8	6	9	12	92	1	8	12	7	12	5	6	9	5	2	4	15	4	2
水痘	↑	0	1	0	0	0	0	1	0	1	3	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	1	2	0	0
手足口病	↓	0	1	1	0	2	0	1	0	0	5	0	1	0	2	1	1	0	0	0	0	0	0	0	0
伝染性紅斑	↑	0	0	0	0	0	2	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	1	0	0	0	0	1	0	0
突発性発しん	↑	1	1	1	1	0	0	0	1	1	6	0	1	3	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ヘルパンギーナ	↑	0	0	5	0	1	0	0	3	3	12	0	1	5	3	1	0	0	1	0	1	0	0	0	0
流行性耳下腺炎	→	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0

眼科（報告定点数: 10 /設置定点数: 10 …東灘区: 1 灘区: 1 中央区: 1 兵庫区: 1 北区: 1 長田区: 1 須磨区: 1 垂水区: 1 西区: 2 ）

疾病名称	前週比	東灘	灘	中央	兵庫	北	長田	須磨	垂水	西	計	～5ヶ月	～11ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	～14歳	～19歳	～29歳	～39歳	～49歳	～59歳	～69歳	70歳以上
急性出血性結膜炎	→	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
流行性角結膜炎	↓	0	0	0	1	0	0	0	0	1	2	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	2	0	0	0	0

インフルエンザ定点医療機関から報告された迅速キット陽性情報(※A型およびB型とは、重感染、混合感染患者の数)

※前週比とは定点あたりの報告数を比較し、今週の定点あたりの報告数の増減をあらわしたものです。

A型	B型	A型およびB型 ※
231	1	0

<基幹定点(設置定点数3)からの報告>
○インフルエンザによる入院13例
○新型コロナウイルス感染症による入院1例

<基幹定点(設置定点数3)からの報告>
○マイコプラズマ肺炎3例：2歳女2例,9歳女

定点医療機関からの急性呼吸器感染症(ARI)患者報告数は前週2,059人(58.83/定点)から今週2,205人(63.00/定点)前週比1.07倍。新型コロナウイルス感染症は前週13人(0.37/定点)から今週9人(0.26/定点)前週比0.69倍。インフルエンザは前週319人(9.11/定点)から今週354人(10.11/定点)前週比1.11倍。基幹定点医療機関における新規の新型コロナ入院患者数は前週1人から今週も1人。インフルエンザ入院患者数は前週17人から今週13人。インフルエンザによる学級閉鎖等の報告は前週19件から今週17件前週比0.89倍。さて、今週、A型肝炎の報告が1例ありました。A型肝炎は、ヒトからヒトへの直接的な接触（糞口感染）、または汚染された食品や水の摂取によって感染します。冷凍してもウイルスは不活化されず、氷や冷凍食品を介して感染する可能性があります。また、性交渉によって感染することもあります。ウイルスに感染し、2～7週間の潜伏期間の後に、急な発熱、全身のだるさ、食欲不振、吐き気や嘔吐が見られ、数日後には黄疸が現れます。成人は小児よりも症状が現れやすく、高齢者では重症度と死亡率が高くなります。有効な予防法として、ワクチン接種（任意接種）があります。日本では、ワクチンは2～4週間の間隔で2回接種します。24週間後に3回目の接種をすると免疫が強化され、5年間は有効といわれています。また、衛生状態の悪いところでは、生水、氷、生肉、生野菜などにウイルスが付着している可能性があります。ミネラルウォーターや一度沸騰させた水、加熱調理してあるものを選びましょう。

参考：厚生労働省「A型肝炎」 <https://www.forth.go.jp/moreinfo/topics/name01.html>

<定点医療機関からの情報> 東灘区 ○アデノウイルス感染症(便)1例：3歳女 / 中央区 ○アデノウイルス感染症咽頭炎1例：4歳女 ○マイコプラズマ感染症1例：6歳男 / 垂水区 ○マイコプラズマ1例 / 西区 ○マイコプラズマ1例：5歳女 ○発熱がないが咳が長引くという患者が増えています。

全数報告 報告詳細(2026/10/19～2026/10/25)

No	性別	年齢	発病年月日	初診年月日	診断年月日	病名	病型	診断方法(検査方法)	症状	推定感染原因	備考
1	女	30代	不明	2026/10/13	2026/10/20	A型肝炎	－	血清IgM抗体の検出	肝機能異常	経口感染	A型肝炎ワクチン接種歴:無
2	女	70代	2026/10/13	2026/10/19	2026/10/22	日本紅斑熱	－	検体から直接のPCR法による 病原体遺伝子の検出 (血液)	発熱、発疹、DIC、肝機能異常	昆虫等からの感染	推定感染地域:県内
3	男	50代	2026/10/13	2026/10/19	2026/10/19	レジオネラ症	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出	発熱、肺炎	不明	推定感染地域:県内
4	男	80歳以上	2026/10/16	2026/10/19	2026/10/20	レジオネラ症	肺炎型	尿中の病原体抗原の検出	発熱、咳嗽、肺炎	不明	推定感染地域:県内
5	女	80歳以上	不明	2026/10/13	2026/10/19	カルバペネム耐性腸内 細菌目細菌感染症	－	通常無菌的ではない検体からの分離・同定による 腸内細菌目細菌の検出、分離菌の薬剤耐性の確認 及び分離菌が感染症の起因菌であることの判定 (尿)	尿路感染症	不明	Escherichia coli
6	女	0～4歳	不明	2026/10/14	2026/10/21	カルバペネム耐性腸内 細菌目細菌感染症	－	通常無菌的ではない検体からの分離・同定による 腸内細菌目細菌の検出、分離菌の薬剤耐性の確認 及び分離菌が感染症の起因菌であることの判定 (膿・皮膚)	胃ろう周囲蜂窩織炎	以前からの保菌(胃ろう)	Klebsiella pneumoniae
7	女	80歳以上	2026/10/15	2026/10/15	2026/10/22	多剤耐性緑膿菌感染症	－	通常無菌的ではない検体からの分離・同定による 緑膿菌の検出、分離菌の薬剤耐性の確認 及び分離菌が感染症の起因菌であることの判定 (尿)	尿路感染症	医療器具関連感染	
8	男	20代	2026/10月頃	2026/10/16	2026/10/17	梅毒	早期顕症梅毒Ⅰ期	抗体検査による血清抗体の検出	初期硬結(性器)	異性間性的接触	・性風俗産業の従事歴:無 ・性風俗産業の利用歴:不明 ・HIV感染症合併:不明
9	女	30代	－	2026/10/19	2026/10/19	梅毒	無症候 (無症状病原体保有者)	抗体検査による血清抗体の検出	なし	異性間性的接触	・性風俗産業の従事歴:無 ・性風俗産業の利用歴:無 ・HIV感染症合併:無
10	男	30代	不明	2026/10/19	2026/10/23	梅毒	早期顕症梅毒Ⅰ期	抗体検査による血清抗体の検出	硬性下疳(性器)	異性間性的接触	・性風俗産業の従事歴:不明 ・性風俗産業の利用歴:不明 ・HIV感染症合併:不明

2026年第43週の結核届出患者数は5人(うち潜在性結核感染症3人)です。

病原体検出状況 - 集計データ（病原体分離・検出情報 - 急性呼吸器感染症）・・・第43週（令和8年10月19日～令和8年10月25日）

病原体	検体	届出区	性別	年齢	検体採取日	発熱温度	発疹	診断名	備考
コクサッキーウイルスA5型	鼻腔ぬぐい液	東灘区	男	0～4歳	2026/10/13	39.2	発疹なし	急性呼吸器感染症	-
コクサッキーウイルスB5型	鼻腔ぬぐい液	西区	女	0～4歳	2026/10/13	発熱なし	発疹あり	急性呼吸器感染症	重複感染（A）
エンテロウイルスD68型	鼻腔ぬぐい液	須磨区	男	40代	2026/10/08	38.1	発疹なし	急性呼吸器感染症	重複感染（B）
パレコウイルス1型	鼻腔ぬぐい液	西区	女	0～4歳	2026/10/13	発熱なし	発疹あり	急性呼吸器感染症	重複感染（A）
ライノウイルス	鼻腔ぬぐい液	須磨区	男	0～4歳	2026/10/13	39.4	発疹なし	急性呼吸器感染症	-
ライノウイルス	鼻腔ぬぐい液	西区	女	0～4歳	2026/10/08	発熱なし	発疹なし	急性呼吸器感染症	重複感染（C）
ライノウイルス	鼻腔ぬぐい液	中央区	女	0～4歳	2026/10/09	39.5	発疹なし	急性呼吸器感染症	-
ライノウイルス	鼻腔ぬぐい液	須磨区	女	5～9歳	2026/10/13	39.8	発疹なし	急性呼吸器感染症	重複感染（D）
パラインフルエンザウイルス4型	鼻腔ぬぐい液	須磨区	女	5～9歳	2026/10/13	39.8	発疹なし	急性呼吸器感染症	重複感染（D）
RSウイルス（サブグループA）	鼻腔ぬぐい液	西区	男	0～4歳	2026/10/13	40.2	発疹なし	急性呼吸器感染症	-
RSウイルス（サブグループA）	鼻腔ぬぐい液	西区	女	0～4歳	2026/10/08	発熱なし	発疹なし	急性呼吸器感染症	重複感染（C）
ヒトコロナウイルスOC43	鼻腔ぬぐい液	須磨区	男	40代	2026/10/08	38.1	発疹なし	急性呼吸器感染症	重複感染（B）

病原体検出状況 - 集計データ（病原体分離・検出情報 - 急性呼吸器感染症以外）・・・第43週（令和8年10月19日～令和8年10月25日）

病原体	検体	届出区	性別	年齢	検体採取日	発熱温度	発疹	診断名	備考
レジオネラ	喀痰	東灘区	男	60代	2026/10/06	-	-	レジオネラ症	Legionella pneumophilaSG5 , 遺伝子型(ST)2700を分離
コクサッキーウイルスA10型	鼻腔ぬぐい液	北区	男	0～4歳	2026/10/07	発熱なし	発疹あり	手足口病	-
コクサッキーウイルスA10型	咽頭ぬぐい液	東灘区	男	0～4歳	2026/10/06	38	発疹あり	手足口病	-
パレコウイルス1型	鼻腔ぬぐい液	西区	女	0～4歳	2026/10/05	発熱なし	発疹なし	RSウイルス感染症	重複感染（E）
ライノウイルス	鼻腔ぬぐい液	西区	女	0～4歳	2026/10/09	発熱なし	発疹なし	RSウイルス感染症	重複感染（F）
RSウイルス（サブグループA）	鼻腔ぬぐい液	須磨区	女	0～4歳	2026/10/05	発熱なし	発疹なし	RSウイルス感染症	-
RSウイルス（サブグループA）	鼻腔ぬぐい液	西区	女	0～4歳	2026/10/09	発熱なし	発疹なし	RSウイルス感染症	重複感染（F）
RSウイルス（サブグループA）	鼻腔ぬぐい液	西区	女	0～4歳	2026/10/05	発熱なし	発疹なし	RSウイルス感染症	重複感染（E）
RSウイルス（サブグループA）	鼻腔ぬぐい液	須磨区	女	0～4歳	2026/10/13	39	発疹なし	RSウイルス感染症	-
RSウイルス（サブグループA）	鼻腔ぬぐい液	須磨区	女	0～4歳	2026/10/19	38.5	発疹なし	RSウイルス感染症	-